



「長久手のまつり」レリーフ（縦1m×横2m）

作者 あらかわ やすし
荒川 寧

*設置場所 西小学校

*経歴

1948 生まれ
1974 荒川児童美術研究所 主宰
1984 名古屋デザイン専門学校 教諭
現在 愛知産業大学造形学部産業デザイン学科 助教授
愛知産業大学通信教育部造形学部 助教授

*コメント

町には「警固祭り」があります。それには、馬の塔、鉄砲隊、棒隊が出ます。他県では見られない特色ある「まつり」です。農民の素朴な祭礼の中にも勇壮で荒々しく、男っぽさを感じます。

私が長久手に住み始めたのは30余年前、長久手の大学に入学するためでした。それから、村は町へ、風景は大きく変わりました。変わらないのが「長久手のまつり」です。しかし、生活が変化するとともに「まつり」に対する人々の捉え方も変わってきたと思います。

長久手町から西小学校の壁面を飾る作品の制作依頼を受けた時、この美しい「まつり」を棒の手を中心に、「まつり」に集まった人々の表情を表現しようと考えました。

そして、私が見て来た長久手の記録として。